

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について(オプトアウト)

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い実施をします。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用い研究等については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされています。このような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた臨床研究は下記の通りです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている各研究の担当者までお知らせください。

研究課題名	消化器がんの周術期患者様における健康的特性の検討
当院の研究責任者(所属)	坂田崇好(リハビリテーション部 作業療法士)
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	消化器がんの周術期患者様を対象に、健康状態にどのような特性があるかを検討させていただき、今後の作業療法の専門的な発展につなげていきたいと考えております。
調査データ該当期間	2018年1月から2019年1月
研究の方法(使用する資料等)	患者様のカルテ情報やアンケート用紙(OSA, SF-8)を元に、健康特性の傾向を検討致します。
試料/情報の他の機関への提供	リハビリテーション部より他の部門・病院外へは持ち出しません。
個人情報の取り扱い	得られた情報はすべて匿名として扱わせていただきます。年齢・性別の公開は可能性としてありますが、個人に不利益や危険性が及ぶことはございません。
本研究の資金源(利益相反)	利益相反無し
お問い合わせ先	研究代表者 リハビリテーション部 作業療法士 坂田崇好
備考	